

ご あ い さ つ

平成27年度市政年報を発行するに当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

平成27年度を振り返ってみますと、新たな地域自治制度がスタートし、観光情報物産館「コエド市場」のオープン、県内初のコミュニティFM「FMくらら857」の開局、市の木・花・鳥・歌の制定、「深川の雪」高精細複製画の披露、とち介の「ゆるキャラグランプリ2015」全国6位入賞など、市民の一体感の醸成や地域資源を生かしたまちづくりを着実に進めることができたと思っております。

一方、大きな爪痕を残した昨年9月の関東・東北豪雨では、大規模災害時に備え、地域における自主防災組織の充実・強化を図ることの重要性を再認識させられました。今回の豪雨被害を教訓に、今後も起こり得る災害等による被害を最小限に抑えることができるよう、本市の地域防災計画の見直しに取り組んで参ります。

さて、合併から7年目となる平成28年度は、更なるステップアップを図り、存在感のある16万都市を目指すため、将来を見据えた事業を力強く進めております。

まず、地域医療対策ですが、基幹的医療拠点となる「とちぎメディカルセンターしもつが」が5月に開院し、切れ目のない地域完結型の医療提供体制が整い、本市においても質の高い医療サービスが受けられるようになります。

また、圏央道の開通により、企業の立地環境が向上した栃木インター周辺の「千塚町上川原産業団地」についても、年内の予約分譲開始を予定しており、本市経済の活性化や雇用機会の拡大につながるものと確信をしております。

引き続き、若者が集い、まちがにぎわい、市民の皆様が夢と希望を持てる名実ともに複合文化都市にふさわしい栃木市をつくるため、全力を尽くして参りますので、市議会をはじめ、市民の皆様の温かいご理解と更なるご支援を賜りますよう心からお願いを申し上げます。平成27年度市政年報の発行に当たってのごあいさつとさせていただきます。

平成28年8月

栃木市長 鈴木俊美

